

一般質問(4)

障害者の就労支援、IT技術訓練施設も検討せよ

保谷 七緒美(生ネ)

子ども家庭支援センター「のどか」の相談事業について... 相談者の悩みをただ聞くだけでなく、課題の即時解決に向けて、行政として、今後どのような努力をするのか。



子ども家庭支援センター「のどか」

答弁 子育てにかかわる情報の収集システムの構築、課題解決に必要なサービス基盤の整備を図りたい。福祉サービス第三者評価実施事業について

質問 普及に向けて努力を求め、いかがか。

答弁 18万都市にふさわしい利用者本位の体制整備に積極的に取り組んでいきたい。障害者の就労支援について

介護支援センターを活用して福祉相談・ケアの充実を図れ

土井 節子(無所属)

在宅介護支援センターは、地域の高齢者の相談・サービスの連絡調整・情報提供のなめだ。在宅高齢者の不安にこたえ、具体的サービスにつなげるためにも、ケアマネジャーと支援センターの連携を図れ。

答弁 協働して、事例研究などに努めている。

質問 支援センターの知名度、利用度は低い。看板の工夫・地域に出向いてのPRやホームページの開設など積極的広報活動を。

答弁 指摘どおり対応する。教育問題

質問 担任が中長期的に不在の場合の件数とその指導体制について伺う。

答弁 1カ月未満の場合は学校内で対応、1カ月以上は時間講師を派遣する。件数は産休・育休9人、病欠16人。

要望 対応できる人員配置と、子ども、父母への十分な説明が必要だ。公園・緑地の拡充を図れ



旧しらじ窪住宅跡地

学校の整備と意識改革が急務。学校開放・遊び場事業について

保谷 七緒美(生ネ)

質問 キャッチボールデー(タイム)をつくり、学校の校庭で自由にボール遊びができる日(時間)を設けよ。



学校選択制導入後の各校の特色づくりについて

福田 裕二(自民)

質問 教育委員会としては、各校の特色がどのような形であらわれると考えているのか。

答弁 地域に開かれた学校というところで、異学年交流・老人ホーム訪問奉仕活動・地域協力イベント等各校ごとに工夫している。今後さらに切磋琢磨していく。

質問 小中学生への禁煙教育はどう考えているのか。

答弁 教育活動を通じ、保健・学級活動で発達段階に応じて行っている。

要望 冊子等を作成し、早い段階から行っていくことを検討されたい。



中町分庁舎(中町1丁目)

質問 新市建設計画にある生産緑地買い取り費用100億円今後の活用計画は、都が都営住宅建てかえを断念した旧しらじ窪住宅跡地は空き地・緑地として残せるのか。

答弁 基本的方針・計画ができた財源対応する。しらじ窪跡地は市民意向を受けとめて総合的に対応する。

要望 対応できる人員配置と、子ども、父母への十分な説明が必要だ。公園・緑地の拡充を図れ

西東京市のまちづくり羅針盤 基本構想可決・実現を目指せ

大塚 光男(自民)

戦後半世紀を経た「歪み」でしょうか。政治も、経済も、教育も、特に治安までも、地域社会での連帯感も、そして日本人の「心」や、社会の秩序「ま」までも、失われつつあると思えます。「日本はこのままでよいのでしょうか

小児科救急医療初期診療所の早期実現を!!

桐山 ひとみ(民主)

質問 休日診療所が中町分庁舎に移転するための工事の進捗と、夜間診療や小児科救急医療の初期診療に関する医師会との協議経過は。

答弁 医師会の保健・医療・福祉連絡会の小児科部会で、初期診療等が実施できるかどうかを含めて検討をお願いしている。

質問 健康づくりと予防対策について、マンモグラフィ(X線レントゲン)導入後の乳がん検診の状況は。

答弁 厚生労働省では、これまででの視触検診について

質問 市内2局体制の今後の方向性はどうか。

答弁 来年3月頃に田無郵便局と保谷郵便局を統合したいという基本方針が決まった。今後郵便事業における住民サービスが低下しないよう日本郵政公社にさらに働きかける。

質問 一刻も早く行っていただきたい。

要望 一刻も早く行っていただきたい。

質問 市内2局体制の今後の方向性はどうか。

西東京市のIT化 都営住宅跡地の利用について

山崎 英昭(民主)

質問 市民満足度向上にIT化をどのように活用するのか。

西東京市のIT化 都営住宅跡地の利用について

山崎 英昭(民主)

答弁 市民の利便性向上、行政のあらゆる分野の業務改革を遂行する手段として、積極的に情報化に取り組む。

質問 電子申請・電子入札導入について。

答弁 電子申請の稼働想定は16年度秋口以降。電子調達も16年度の末には業者登録等の作業ができる進行状況。17年度には電子入札システムを稼働させたい。

質問 デジタルレバイド対策について。

答弁 アナログ形式の申請方法等も併用していく。

質問 CIO(最高情報責任者)の設置が必要だ。

質問 市民満足度向上にIT化をどのように活用するのか。

答弁 市民生活の安全を守る見地より、安全条例づくりの進行状況に合わせて、地域防犯体制づくりと防犯対策の窓口を統合させよ。

質問 市民生活の安全を守る見地より、安全条例づくりの進行状況に合わせて、地域防犯体制づくりと防犯対策の窓口を統合させよ。

に、健康都市を目指す、スボーツ振興計画、施設環境整備を具体的に実現させよ。

質問 保谷町5丁目の空き地を市民・地域開放施設「ミセン」として有効活用せよ。

質問 市民生活の安全を守る見地より、安全条例づくりの進行状況に合わせて、地域防犯体制づくりと防犯対策の窓口を統合させよ。

小児科救急医療初期診療所の早期実現を!!

桐山 ひとみ(民主)

質問 休日診療所が中町分庁舎に移転するための工事の進捗と、夜間診療や小児科救急医療の初期診療に関する医師会との協議経過は。

答弁 医師会の保健・医療・福祉連絡会の小児科部会で、初期診療等が実施できるかどうかを含めて検討をお願いしている。

質問 健康づくりと予防対策について、マンモグラフィ(X線レントゲン)導入後の乳がん検診の状況は。

答弁 厚生労働省では、これまででの視触検診について

質問 市内2局体制の今後の方向性はどうか。

答弁 来年3月頃に田無郵便局と保谷郵便局を統合したいという基本方針が決まった。今後郵便事業における住民サービスが低下しないよう日本郵政公社にさらに働きかける。

質問 一刻も早く行って行っていただきたい。

要望 一刻も早く行って行っていただきたい。

質問 市内2局体制の今後の方向性はどうか。